



月報だよりの原稿は毎月20日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで toukou@geppou.asj.or.jp宛。

なお、原稿も必ずFaxで0422-31-5487までお送りください。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

平成29年度国立天文台フェロー（年俸制職員特任助教）

国立天文台フェローは、自立した優秀な若手研究者を採用し、国立天文台において研究活動を行っていたり制度です。平成26年度は3名、平成27年度は1名、平成28年度は4名を採用しています。

1. 年俸制職員 特任助教 若干名
2. (1) 受入責任者の所属するプロジェクト、センター、研究部
(2) 国立天文台の三鷹、水沢、野辺山、岡山、ハワイ、チリのいずれかのキャンパス
3. 天文学および関連分野
4. 基本的に義務的職務はなく、研究や開発に専念していただきます。
5. (1) 平成29年4月1日以降、ただし平成29年9月30日までに着任していただきます。
(2) 原則として着任日より5年間ですが、年度ごとに業績評価を受けていただくこととなります。契約期間満了後の更新はありません。
6. 博士の学位を取得した者または平成29年3月31日までに取得見込みの者。
7. (1) 履歴書、(2) 研究歴、(3) 研究論文リスト（査読論文と、その他を区別し、共著論文の場合は著者名をすべて明記すること）、(4) 主要論文3編のPDFファイル、(5) 研究計画書（受け入れ責任者を明記のこと）、(6) 応募者に対する評価

書1通。

8. 平成28年9月15日（木）正午（日本標準時）（応募フォームでの応募書類と評価書の投稿）
9. (1) 次のURLの応募フォームにアクセスし、必要事項の入力と必要書類のアップロードを行うこと。 <https://application.nao.ac.jp/2017/> 評価書は、応募フォームにある説明に従い、評価者がアップロードすること。
(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台研究連携主幹 郷田直輝
Tel: 0422-34-3616
e-mail: appl-fellow2017@nao.ac.jp
10. 応募投稿が受理されると、自動的に確認メールが送られますが、それが届かない場合は appl-fellow2017@nao.ac.jp へ問い合わせること。
11. 採用審査：書類および面接により候補者を選考し、本年10月末（予定）に開催される運営会議の議を経て特任助教として採用を決定します。
身分・待遇：裁量労働制の常勤職員として月額55万円の給与および通勤手当、米国ハワイ州外よりハワイ観測所（ハワイ州ヒロ市）に着任する場合、またはチリ共和国外よりチリ観測所（サンチャゴ市）に着任する場合には勤手当が支給されます（ハワイ約25万円、チリ約30万円など）。文部科学省共済組合（健康保険）、厚生年金保険に加入していただきます。ボーナス、退職金の支給はありません。着任のために必要と認められる転居を伴う場合には赴任旅費が支給されます。また、年あたり100万円の研究費が配分されます。科学研究費助成事業への応募資格があります。国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。詳しくは <http://open-info.nao.ac.jp/danjokiyodo/> をご覧ください。

研究助成

平成 29 年度笹川科学研究助成公募

■申請受付期間

【学術研究部門】平成 28 年 10 月 1 日～10 月 14 日

【実践研究部門】平成 28 年 11 月 1 日～11 月 15 日

■主な募集対象者

【学術研究部門】

・大学院生（修士課程・博士課程）

・35 歳未満の若手研究者

【実践研究部門】

・博物館、NPO などに所属している者

■詳細は、本会ウェブサイトにてご確認願います。

<http://www.jss.or.jp/ikusei/sasakawa/>

・募集告知ポスター

<http://jss.or.jp/poster.pdf>

◆本会 Web サイトにリンクをしていただける際には、お知らせ願います。

〈問合せ先〉

公益財団法人日本科学協会 笹川科学研究助成係

Tel:03-6229-5365 Fax: 03-6229-5369

<http://www.jss.or.jp>

e-mail:josei@jss.or.jp

賞の推薦

2016 年度日本天文学会林忠四郎賞受賞候補者および欧文研究報告論文賞受賞候補論文推薦のお願い

林忠四郎賞選考委員会

標記の二つの賞について、受賞候補者と論文の推薦をお願いします。締切は両賞とも 2016 年 11 月 10 日（木）（必着）です。以下に述べるそれぞれの要領に従って記入した推薦書を、〒181-8588 三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 日本天文学会宛に郵送してください（論文賞については e-mail も可）。なお、封筒には「林忠四郎賞候補者推薦書」または「欧文研究報告論文賞候補推薦書」と表記してください。特に返送等のお申し出がない限り、推薦書類は選考後に破棄します。授賞式は、両賞とも本会春季年会開催時の会員全体集会にて行う予定です。

林忠四郎賞の推薦は 2 年間有効です。欧文研究報告

論文賞の推薦は毎年リセットされます。「原則として 1 年に 2 件以内」と内規に定めがありますので、優れた論文であっても受賞に至らない場合があります。優れた論文は複数回推薦していただくことを奨励します。

2016 年度（第 21 回）林忠四郎賞推薦要領

この賞は、林忠四郎博士が 1995 年 11 月に第 11 回京都賞を授与されたのを記念し、「後進の天文学研究を奨励するため」として同博士より日本天文学会にいただいた寄付を基金にして設定されたものです。

対象：広い意味での天文学（天体物理学、宇宙物理学、他の関連テーマも含む）における独創的かつ分野に寄与するところの大きい研究業績に対して授与する。

受賞資格：本年度当初において既に本会正会員である者（個人または少人数の研究グループ）。

授賞件数：原則として各年に 1 件。

賞状等：本賞として賞状、副賞として賞牌（メダル）および賞金（30 万円）。

推薦書の形式：表題は「2016 年度林忠四郎賞候補者推薦書」としてください。A4 サイズの用紙に、次の順序で横書きにしてください。

- 1) 候補者（被推薦者、連名授賞可）について：氏名（ふりがな）、生年月日、大学卒業年、現職および連絡先（電話、Fax, e-mail）
- 2) 授賞対象とする研究の表題（英語表記も）
- 3) 推薦者について：氏名（ふりがな）、現職、連絡先（電話、Fax, e-mail）、被推薦者との関係
- 4) 推薦理由の要旨（300 字以内）
- 5) 推薦理由
- 6) 関連する論文のリスト
- 7) 添付資料として、推薦に関連して最も重要な論文のコピー（3 編以内）

2016 年度（第 21 回）欧文研究報告論文賞 推薦要領

この賞は、良い論文が Publications of the Astronomical Society of Japan (PASJ) に投稿・出版されることを奨励するために設定したものです。なお本賞の選考委員会は、林忠四郎賞選考委員会が兼ねることになっています。

対象論文：原則として過去 5 年以内に Publications of the Astronomical Society of Japan に出版された論文のうち、独創的で天文学分野に寄与の大きい、特に優れた論文の著者（共著の場合はすべて

の共著者)に授与する。

授賞件数等：原則として1年に2件以内。賞状と副賞を授与する。

推薦書の形式：表題は「2016年度欧文研究報告論文賞候補推薦書」としてください。A4サイズの用紙(e-mailでも可)に、次の順序で横書きにしてください。

- 1) 候補論文について：論文題目、筆頭著者名、出版された巻、ページ、発行年
- 2) 推薦理由(1,000字程度)
- 3) 推薦者について：氏名(ふりがな)、現職・連絡先(電話、Fax, e-mail)、被推薦者との関係
- 4) e-mailで推薦する場合はjimu@asj.or.jp宛に送信して、受領メールを必ず確認してください。

2016年度研究奨励賞(第28回)候補者推薦のお願い

研究奨励賞選考委員会

本会は、優れた研究成果を上げている若手天文学者に対して、日本天文学会研究奨励賞を授与しています。

受賞資格は

- 1) 日本天文学会正会員で、最近5年間における天文学への寄与が顕著なる者
- 2) 当該年度初日にすでに正会員であってかつ35歳以下の者

です。毎年3名以内を対象とし、賞状、賞牌(メダル)および賞金(10万円)を併せて授与しています。皆様からの多数の候補者の推薦をお待ちしております。選考委員会では推薦された方の中から、研究奨励賞内規に基づき選考を行い、候補者を代議員総会に推薦します。

受賞候補者の推薦要領は

- (1) 締切：2016年11月7日(月) 必着
- (2) 提出書類：○候補者氏名、会員番号、現職、生年月日、○授賞対象とする研究の表題(英語表記も)、○推薦者の氏名、現職、連絡先、○推薦理由(300文字程度の要旨とA4で2~3枚程度の本文)、○関連論文リスト、○推薦に関連して最も重要な論文のコピー(3編以内)
- (3) 提出先：できるだけ、e-mailで応募してください。e-mailの場合はjimu@asj.or.jp宛にsubject「2016研究奨励賞応募 氏名」としてお送りください。また、提出書類は一つのPDFにまとめ、ファイル名を「2016kenkyushorei full name」と

してください。

郵便で提出する場合は

〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1

国立天文台内

日本天文学会研究奨励賞選考委員会

へ送付してください。

2016年度(第16回)天文功労賞候補者推薦のお願い

天体発見賞選考委員会

この賞は、近年多岐にわたっている研究機関外での天文活動、例えば長年の天体観測や、突発的な現象の検出や的確な通報などを、称賛し奨励するためのものです。賞の対象となる功績は、天体発見賞・発見功労賞の枠外となっている天文観測・研究活動全般です。対象者は、日本在住者、日本国籍を有する個人、または日本に本拠地を置く団体であって、天文学研究を主たる業務としない者で、日本天文学会の会員であるかどうかは問いません。選考は、天体発見賞選考委員会が行い、候補者を代議員総会に推薦します。天文学会の会員の方々からの候補者(団体)推薦を、広く募集します。A4紙1枚程度で、候補者(団体)名、功績名(1行程度)、功績の説明を書いていただき、日本天文学会事務所(〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 Fax: 0422-31-5487・e-mail: jimu@asj.or.jp)にお送りください。郵便・Fax・電子メールのいずれでも結構です。推薦は随時受け付けておりますが、今回の選考に確実に載せるには、2016年12月22日までにお送りいただくようお願いいたします。なにとぞ多数のご推薦をよろしくようお願いいたします。

2016年度宇宙科学奨励賞推薦公募

公益財団法人宇宙科学振興会では、宇宙科学分野で優れた研究業績を挙げ、宇宙科学の発展に寄与した若手研究者を顕彰し、宇宙科学奨励賞を授与いたします。ここに2016年度の第9回宇宙科学奨励賞候補者のご推薦を募集いたします。当奨励賞の概要は以下の通りです。皆様の周りで優れた業績を挙げ将来の活躍が期待される若手研究者をご存知の際には、是非ともご推挙いただきますようお願い申し上げます。

表彰の趣旨：宇宙理学(地上観測を除く)分野及び宇宙工学分野で独創的な研究を行い、宇宙科学の進展に寄与する優れた研究業績をあげた若手研究者個人を顕彰する。

授与機関：公益財団法人 宇宙科学振興会

候補者：上記分野で優れた業績をあげた当該年度の4月1日現在37歳以下の若手研究者個人。候補者の推薦は他薦に限る。

業績の審査：業績の審査は、推薦理由となる研究業績に関連して発表された論文に基づいて、当財団が設置する選考委員会において行う。

賞の内容：授賞は原則として毎年宇宙理学関係1名、宇宙工学関係1名とする（ただし適格者のいない場合は受賞者なしとする場合がある）。受賞者には本賞（賞状と表彰楯）および副賞（賞金30万円）が贈られる。

推薦締切日：2016年10月31日（月）必着。

表彰式：選考結果は2017年1月に推薦者と受賞者に通知するとともに、当財団ホームページにおいて発表する。その後2017年3月に表彰式を行い、受賞者には受賞対象となった研究に関する講演をして頂く。

なお、推薦の手続きの詳細については財団のホームページ（<http://www.spss.or.jp>）をご覧ください。推薦書式をダウンロードして必要事項を記載の上、(1) 候補者の略歴、(2) 論文リスト、および(3) 推薦の対象となる論文の別刷等必要書類を添付の上、電子メールにてご提出下さい。

お問い合わせ先および推薦書送付先：

〒252-5210 神奈川県相模原市中央区由野台3-1-1
公益財団法人宇宙科学振興会 事務局
E-mail: admin@spss.or.jp

会務案内

公益社団法人日本天文学会 2015 年度（2015 年 4 月 1 日～ 2016 年 3 月 31 日）事業および決算の報告

事業・決算報告書の電子版を日本天文学会ホームページ上（<http://www.asj.or.jp>）で公開しておりますが、書面による配布を希望される方には別途郵送いたしますので、学会事務局までご連絡ください。

I.1 2015 年度事業の報告

活動内容はおおむね例年どおりでした。欧文研究報告、天文月報、年会予稿集、ジュニアセッション予稿集の刊行、各種委員会活動、各賞の授与、助成金（早川基金：20名に総額約418万円援助、学術交流費：年会学生発表者36名に総額約84万円補助、内地留学奨学金：該当者なしのため支給なし）、後援事業に関する事業を行いました。詳しい事業報告は学会ホームページを参照してください。2016年3月31日の会員数は以下のとおりです。

| | 正会員 (内学生) | 準会員 | 団体会員 | 賛助会員 | 合計 |
|------------|--------------|-------|------|------|-------|
| 2015年3月31日 | 1,866 (337) | 1,135 | 38 | 43 | 3,082 |
| 入会 | 217 (192) | 31 | 1 | 0 | 249 |
| 退会 | △ 105 (39) | △ 68 | 0 | △ 2 | △ 175 |
| 移籍(増) | 4 (1) | 16 | — | — | 20 |
| 移籍(減) | △ 16 (4) | △ 4 | — | — | △ 20 |
| 正会員へ(学生減) | △ (56) | | | | |
| 2016年3月31日 | 1,966 (431) | 1,110 | 39 | 41 | 3,156 |

(注：移籍とは正会員、準会員との間の移動のことを指す)

I.2 2015年度決算の報告

2015年度の経常収益は前年度より315,204円減、経常費用は同1,738,725円増、学会の正味財産は5,447,965円増えて141,282,393円となりました。受取会費は42,524,000円で441,000円減少しました。受取会費は主に一般事業および法人会計に充てています。

Oxford University Pressに委託している欧文研究報告(PASJ)の経費が前年度以上に抑さえられ収支が大きく改善しました。助成事業は賛助会費および寄付によって運営されています。事業別決算書内訳は以下の通りです。

(文責庶務理事：山下卓也，会計理事：柴田克典)

事業別決算書内訳表

2015年4月1日から2016年3月31日まで

公益社団法人 日本天文学会

(単位：円)

| 科目 | 公益目的事業 | | | | | |
|---------|------------|------------|-------------|-----------|------------|------------|
| | 一般事業 | | | | | |
| | 共通事業 | 欧文事業 | 月報事業 | 年会事業 | その他の事業 | 小計 |
| 経常収益計 | 20,590,654 | 31,254,284 | 4,550,571 | 8,433,688 | 815,558 | 65,644,755 |
| 経常費用計 | 9,783,380 | 32,650,255 | 16,154,653 | 7,467,095 | 3,459,214 | 69,514,597 |
| 当期経常増減額 | 10,807,274 | △1,395,971 | △11,604,082 | 966,593 | △2,643,656 | △3,869,842 |

| 科目 | 公益目的事業 | | | | | | |
|---------|-------------|------------|-------------|------------|----------|-----------|--------------|
| | 助成事業 | | | | | | 公益目的事業 会計 |
| | 学術交流費 事業 | 内地留学 事業 | 研究奨励賞 事業 | 早川基金 事業 | 林賞事業 | 小計 | |
| 経常収益計 | 1,351,267 | 324 | 491,536 | 4,191,495 | 58,966 | 6,093,588 | 71,738,343 |
| 経常費用計 | 842,263 | 324 | 491,536 | 4,191,495 | 550,905 | 6,076,523 | 75,591,120 |
| 当期経常増減額 | 509,004 | 0 | 0 | 0 | △491,939 | 17,065 | △3,852,777 |

| 科目 | 法人会計 | 内部取引消去 | 合計 |
|---------|------------|--------|------------|
| 経常収益計 | 20,745,354 | 0 | 92,483,697 |
| 経常費用計 | 12,022,912 | 0 | 87,614,032 |
| 当期経常増減額 | 8,722,442 | 0 | 4,869,665 |

編集委員会より

天文月報表紙デザイン案大募集！

2017年1月号から12月号までの表紙を飾るデザインを募集します。

表紙は、題字（『天文月報』の文字）、号数、日本天文学会のロゴマーク、記事タイトル、カラー写真および背景イラストから構成されます。毎月違うイラストでも、同じデザインで色違いでも構いません。具体例は、今年または過去の天文月報をご覧ください。

（天文月報のホームページのバックナンバー（<http://www.asj.or.jp/geppou/contents/index.html>）に表紙画像があります。）

応募される方は、天文月報投稿用アップローダーまで、表紙デザイン案の画像ファイル、およびそのコンセプトをお送りください。

形式は問いません。雑誌のサイズは、B5判タテ（182ミリ×257ミリ）です。採用された方には、規定の謝礼をお支払いします。

また、採用者をご紹介いただいた会員の方には粗品を差し上げます。

締切り：2016年9月末日

送り先：天文月報編集委員会

天文月報投稿用アップローダーまで

天文月報記事投稿用アップローダー

<http://www.asj.or.jp/geppou-office/toukou/index.php>

■ログイン法

login: geppou passwd: toukou

■アップロードの仕方

アップロード画面にいったまず必要事項を埋めてください。

するとアップロードに進むことができます。ファイルが複数ある場合は「投稿フォームを増やす」ボタンを押してください。押すたびに欄が増えます。

1回あたり全部で最大50 Mbyteまで送信できます。（それ以上の巨大なファイルのアップロードは推奨されませんが、やむをえない場合は分割してお送りください。）

■注意

投稿者の個人の認証はcookieを利用しています。

したがってcookieを受け取らないブラウザでは使えません。

またformのcheckや可変個数のアップロードボックスはjavascriptを利用していますのでjavascriptが使えなければこのuploaderは使えません。

その場合は従来どおり、toukou@geppou.asj.or.jpまでメールでご投稿ください。

■連絡先

アップローダーに関するテクニカルなご質問は youtsumi@hiroshima-u.ac.jp まで、

またその他のご質問は toukou@geppou.asj.or.jp までお願いします。

（天文月報編集長）

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード：雑誌コード（5桁の数字と）vol98（5文字）の計10文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

青木和光（編集長）、上野悟、大栗真宗、奥村真一郎、富永望、萩原喜昭、馬場彩、平松正顕、町田正博、諸隈智貴、吉田二美

平成28年8月20日

発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8 株式会社 国際文献社

定価720円（本体667円） 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359（事務所）/ 0422-31-5488（月報） Fax: 0422-31-5487 振替口座00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2016年（本誌掲載記事は無断転載を禁じます）